



ほし 今を全力で楽しみ この地球をたくさん知る

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

本校では7月4日に小学部6年生が企画・運営しての七夕集会を行います。小学部6年の教室では、全校生に楽しんでもらえるようにと3人が頭を寄せ合って内容を検討しています。笹の準備、低学年にもわかるような七夕のお話、そして当日のゲーム……。何よりも、子どもたちがどのような願い事をするのか、私たち大人にとっても気になるところです。



「今を全力で楽しみ この地球をたくさん知る」これは中学部の生徒が短冊に書いた言葉です。日本人学校の児童生徒ならではの思いが感じられます。限られた「今」という時間の縦軸、「地球(ほし)」という広い横軸、その座標の中での1つ点、その点がつながって自分の人生の軌跡がグラフとなって残っていきます。右上がりのまっすぐな直線がいいとは限りません。もしかしたら、マイナスの領域に落ち込むかも知りません。ただ、一つ言えることは、将来は予測がつかないということ、言い換えると自分で作ることができるということです。サンホセ日本人学校の子どもたちには、今を楽しみ、日本やコスタリカ、地球や宇宙、そしてそこに生活している「人」を知り、多様性が求められている社会の中で、個性が発揮されることを期待しています。

自分への挑戦(水泳教室より)

「最初はクロールで15mでも息つきができなかった。2回目や3回目の練習では息つきができるようになった。最後は20mをクロールで泳げた。」など、水泳教室最終日の全校帰りの会で、胸を張って全員の前で話しました。あまり得意ではないことも、目標をもって、一生懸命挑戦した結果が、自信にあふれた言葉となってでたのでしょう。水泳の自由時間でも、この児童は息つきの練習をしていました。「できるようになりたい」この思いを行動に移し、「できるようになった」のです。自分の目標をたてて、それに挑戦する態度や達成した時の満足感は、次への力となるとともに、「何事にも挑戦する」意欲につながると思います。できないことをやらない限り、できるようにならないことを挑戦している子どもたちの姿から学びました。



【サンホセタイム】



【JICA 友岡杏奈さん講演】



【避難訓練(地震)】



【鶴丸はるかさんミニコンサート】

【寄贈していただきありがとうございました】

■和太鼓 ■ 綿菓子製造機

6月12日に三浦剛様(AUTO JAPON)が来校され、直径60cmの和太鼓と綿菓子を作る機械を寄贈して下さいました。また、9月の日本人会のBBQ大会でもご紹介させていただきます。ありがとうございました。

